

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-105	Year Month Day Time 2019 年 5 月 3 日 16 : 55
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
福大大濠	<table border="1"> <tr><td>24 1st 8</td></tr> <tr><td>30 2nd 15</td></tr> <tr><td>18 3rd 19</td></tr> <tr><td>18 4th 25</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	24 1st 8	30 2nd 15	18 3rd 19	18 4th 25	0 T	能代工業
24 1st 8							
30 2nd 15							
18 3rd 19							
18 4th 25							
0 T							
90 ○		67 ●					

主審:Crew chief
大山賢史 栃木
副審:Umpire
及川 学 岩手
田中直幸 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	西田 公陽	CAP	18	1	6	3	1	4	×	須藤 陸	CAP	9	1	2	2	0
5	／	高木 寛大		4	0	2	0	0	5	／	粟屋 颯太		0	0	0	0	0
6	×	田邊 太一		10	0	2	6	3	6	×	森山 陽向		4	0	2	0	2
7	×	間山 柊		7	1	2	0	2	7	×	秋元 淳之介		29	3	7	6	2
8		木林 優		-	-	-	-	0	8	×	伊東 翼		12	1	3	3	3
9	／	黒木 丈		10	0	5	0	0	9	／	上村 悠真		5	0	1	3	4
10	×	平松 克樹		2	0	1	0	0	10	／	上村 大佐		6	0	3	0	2
11	／	杉 涉夢		2	0	1	0	0	11	×	佐々木 駿汰		2	0	1	0	1
12	／	山際 爽吾		10	2	1	2	1	12	／	中山 玄己		0	0	0	0	2
13		岩下 准平		-	-	-	-	0	13	／	高橋 裕心		0	0	0	0	0
14	×	横地 聖真		20	3	5	1	0	14		田中 侑治		-	-	-	-	0
15	／	岩橋 史門		0	0	0	0	0	15	／	成澤 頼		0	0	0	0	1
16	／	原田 大和		4	0	2	0	2	16	／	大石 隼		0	0	0	0	0
17	／	針間 大知		3	0	1	1	2	17	／	小形 佳史		0	0	0	0	0
18	／	島崎 輝		0	0	0	0	2	18		藤原 健太郎		-	-	-	-	0
コーチ		片峯 聡太						0	コーチ		小野 秀二						0
								0	コーチ		島内 聡太						0
合 計				90	7	28	13	13	合 計				67	5	19	14	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	20	22.22%	横地 聖真
2	18	20.00%	西田 公陽
3	10	11.11%	田邊 太一

1	29	43.28%	秋元 淳之介
2	12	17.91%	伊東 翼
3	9	13.43%	須藤 陸

Score ranking[Game]

1	29	秋元 淳之介	能代工業	2	20	横地 聖真	福大大濠	3	18	西田 公陽	福大大濠
---	----	--------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

初戦は共に黒星スタートとなった両チーム。ここで勝利し、2日目以降に弾みをつけたい。

1Q、両チームともマンツーマンでスタート。序盤はお互い動きが固く、得点が入らない中、能代工業#6森山のジャンプシュートで先制。その後も我慢の展開が続くが、福大大濠#14横地の3P が決まると試合が動き出す。福大大濠はディフェンスのプレッシャーを強め、ターンオーバーを誘うと、#14横地や#4西田が次々に速攻を決め、24-8と福大大濠がリードする。

2Qは得点の入れ合いでスタートする。福大大濠は#4西田がミスマッチを活かし、ポストプレーで得点を重ねると、能代工業は#7秋元、#9上村悠のジャンプシュートで応戦する。しかし、福大大濠は徐々にリバウンドで優位に立つと、#14横地の1対1、#7間山の速攻で点差を引き離す。残り3分、能代工業はタイムアウトで立て直しを図るが、福大大濠は主導権を渡さず、54-23と大きくリードで終了。

3Q、両チーム、マンツーマンでスタート。福大大濠は#14横地が3P、カットインと次々に得点を重ねていく。能代工業も#4須藤がタフショットを決めるが、福大大濠の強烈なディフェンスを攻めあぐね、反撃の糸口が見出せない。それでも能代工業は#7秋元を起点に連続得点の機会を作り出し、フリースローを織り交ぜながら食らいつき、72-42で終了。

4Q、福大大濠はメンバーを入れ替えると、能代工業がようやくペースを掴み始める。フルコートでのディフェンスでミス誘うと#8伊藤のジャンプシュート、#7秋元がこのクォーター3本目の3Pを決めるなど、点差を詰める。しかし、福大大濠も#12西田が効果的に3Pを決め、能代工業の反撃を振り切り、90-67で勝利を挙げた。